第22号　平成７年３月１日発行

福祉つるみ

題字　石田菊雄氏

編集・発行　鶴見区社会福祉協議会
鶴見区福祉の風土づくり推進委員会
鶴見区役所　福祉課内
TEL 503－1212　内線304
印　　刷　朝日オフセット印刷株式会社
本紙は自治会・町内会のご協力で全世帯に配布しています。

あたたかい地域介護を求めて

横浜市では「ゆめはま２０１０プラン」を策定し、公的な福祉サービスの充実を目指しています。それとともに、近隣同士のお手伝いなど、地域の人々の協力と工夫のもとにお互いに支え合う「地域介護」の仕組を作っていくことが高齢化社会を迎えた今、求められています。



地域介護の重要性を語る西嶋先生

平成7年1月21日開催の第13回鶴見区社会福祉大会で、町田市で「暖家（だんけ）の会」という高齢者介護ボランティアグループで活動している西嶋医院院長西嶋公子先生を講師に迎え、「あたたかい地域介護を求めて」と題してご講演をいただきました。はじめに、寝たきりのお年寄りの話し相手、お惣菜お届けサービスから、高齢者在宅サービスセンターの設立運動までの会の活動がビデオで紹介されました。その後、「地域介護」の重要性について次のようなお話をいただきました。

介護者を支えるボランティアのネットワークづくりを

「寝たきり老人、痴呆性老人など親族の介護をなさっている方の中には、極度の肉体的疲労と『自分が倒れたら家庭が崩壊してしまう。』という精神的重圧に心身共に押しつぶされてしまった方が大勢います。家族による在宅介護の限界はもや明らかです。これらはこの問題を血縁（家族）だけでなく、地域で暮らしている人々の共通の「地縁」の問題として考え、介護する家族を手助けするため地域住民によるボランティアのネットワークづくりが必要です。」

家族とともに老後を考えましょう。

「これからは、人生の中で老後の生き方を自分で選び、自立した生活をできるだけ長く送ることが大切になります。

そのためには、自分が寝たきりになったり、不治の病にかかったりしたときのことを、普段から家族とよく話し合うなどして、お互いに自分自身の老後を考えるようにしましょう。」

ホームヘルプサービス、そしてホームヘルパーとは

なかでも、今後の地域介護における在宅福祉サービスの中心となるのがホームヘルプサービスです。ホームヘルプサービスは、年を取ることなどにより体が不自由になっても地域、家庭の中で自立して生活できるよう家事や介護等の援助をする福祉サービスです。その担い手がホームヘルパーです。

ホームヘルパーになるには、基本的な家事がこなせて、福祉への理解と熱意がある健康な方なら誰でも参加することができます。

こうしたホームヘルパーについての理解を一層深めてもらうための講演会を昨年10月12日に鶴見区役所で行いました。

（財）横浜市ホームヘルプ協会でパートタイマーのヘルパーとして働いている中井さんは、「ホームヘルパーは、自分の時間に合わせて働くことができ、健康であれば68歳まで仕事を続けられます。そして自分を含め、身内の老後についても大切な様々な情報や知識や技能を身につけることができて、なおかつ利用者の方から喜んでもらえるという働きがいのある仕事です。」と、お話になりました。

また、同じヘルパーの中島さんは、「初めは家事介護の仕事から入って、研修を修了してから痴呆の方の介護に携りました。いろんな体験をしましたが、家族の方からもとても喜ばれたことが現在の活動の自信につながっています。」とわかりやすくお話をされました。

鶴見区では援護を必要とする方が多く、ホームヘルパーをたくさん必要としています。ホームヘルパーはこれからの福祉を支える大切な仕事です。多くの方の参加をお待ちしています。

〈連絡先〉
横浜市ホームヘルプ協会
人材開発課
☎（262）7272
〒220　西区老松町25


ホームヘルパー講演会

いま　鶴見区では

鶴見区では福祉にかかわる関係機関や団体が集まって「鶴見区地域ケアサービス総合調整推進会議」を組織し、各地区での研修会やシンポジウムなど地域介護の支援体制の整備を進めるための事業を行っています。

区役所の福祉保健サービス課では福祉・保健に関する相談を受付けると、内容に応じて在宅で様々な福祉サービスが受けられるよう調整しています。さらに、ホームヘルプサービス、ショートステイ、ディサービス、訪問看護などの在宅サービスとうまく連携させることで、きめの細かい在宅福祉サービスの供給を実現しようとしています。

「阪神大震災」の被災者の皆様へ謹んでお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧を心からお祈りいたします。

日本赤十字社・共同募金への義援金をお願いいたします。

当区の窓口：鶴見区役所地域福祉係
☎（503）1212
内線302

承認鶴見区第75号

自分の中にやさしさを育てる

ー橘女子高校のボランティア活動ー



老人ホームを訪問する生徒たち

橘女子高校では、「人間（私）にとって本当に大切なことは何か」というテーマのもとに、昭和61年から「総合」という科目を組んでいます。「総合」とは人間として生きる力、自分を成長させる力を養うために、すべての教科の源となる教科という意味です。

この教科は「自分・人間・いのち」「感じる・あらわす・つくる」「実際の活動の中で体験し、実践する」という三本の柱から成り、その中に福祉の実習としてボランティア活動を三年間行います。

生徒たちは、一年時には福祉の心を育てるため雑巾縫いなどの校内でできることを主として行い、二年時には老人ホームや障害者の作業所で掃除などの手伝いをし、三年時には障害児者や老人と交流したり、一緒に作業をしています。自分を知り、ひとを知り、ともに生きることの大切さを学んでいます。そして、福祉実習から育まれたボランティアの気持ちを今度は自発的な活動へと踏み出している人もいます。

ボランティア体験の文集で、ある生徒は「もし、福祉実習に行っていなければ大切なコミュニケーションを忘れていたかもしれません。私は「総合」の授業でやさしさを学んだと思います」また、ある生徒は、「三年間、大きく変えてくれたのは、私が変わったのではなく障害者の人達が変えてくれたのです」と綴っています。

人としてのやさしさやふれあいの心を育てるために、今日も、明日も区内のホームや障害者作業所、そして保育園など福祉の現場で高校生の声がひびきます。

いじめ、すぐに相談を

あちこちでいじめによる自殺が続いています。憂慮すべきことです。私たちの街に「いじめ」で苦しんでいる子供がいないとはいえません。

地域の皆さん

子供たちは社会の宝です。どうぞ子供たちに関心を寄せて下さい。折々に触れ合い、ことばをかけて下さい。「いじめ」や非行を見つけたら直接注意したり、まわりの人に相談して下さい。

子供の皆さん

▽いじめられたり、仲間はずしにされて一人で悩んでいませんか。いじめられることははずかしいことではありません。どうぞ早く近くの大人に相談して下さい。さもなければ電話で相談して下さい。相談すれば必ず明るい方向が見出だせます。早く相談して下さい。

▽いじめたり、仲間はずしを絶対にしてはいけません。それは人として一番はずかしいことです。今、いじめている人はすぐに止めなさい。

▽まわりに「いじめ」を見つけた人は黙っていないで大人に話して下さい。

お父さん、お母さん

毎日子供さんと触れ合い、話し合って下さい。ふだんと変った様子のときはやさしく受け止めてじっくり話を聞いて下さい。お互いに子供の頃を思い起こせば、あたたかい家庭の触れ合いのありがたさがうかんできます。

「いじめ」などに気づいたら直ちに先生に話すか、電話相談をして下さい。

最後に相談する所をご紹介します。

▽各地区の民生委員・児童委員

▽横浜市教育委員会　いじめ110番
☎(671)3888
月～金　9:00～17:00
土　9:00～13:00

▽横浜市中央児童相談所　児童電話相談室
☎(333)4152
月～金　9:00～17:30
土　9:00～16:30

▽県警察本部ユーステレホンコーナー
☎(641)0045

☎(0120)457867
（フリーダイヤル）
月～金　8:30～17:00



お知らせ

平成7年1月1日より、潮田在宅支援サービスセンターの名称が「潮田地域ケアプラザ」に変更になりました。

なお、業務内容に変更はありません。

サルビア

人にやさしい社会、支えあう社会の実現が横浜市の福祉の本年度からのテーマです。

時代の変革とともに、家族・家庭での介護への比重が低下し、家族による介護を中心とした従来からの日本型福祉では対応しきれなくなっています。

先頃、国が策定した新ゴールドプランでは「地域ケア」を重視しており、在宅介護に24時間体制で対処するために、今後全国でホームヘルパーを大幅増員しようとしています。けれども、それだけでは不十分です。

「地域ケア」は地域の人達の協力が不可欠なのです。すでに鶴見区においても、「地域ケア」の体制づくりが、大きな課題となっています。

新聞記事によると、大阪府枚方市では30年以上も続けた敬老金支給制度を廃止し、その財源で24時間在宅ケアを実施しているとのことです。これからはこんな大胆な発想転換も必要となるでしょう。

鶴見区に住んでいてよかった、といわれるような「地域ケア」の充実に微力ながら尽くしたい、これが私の1995年年頭の思いなのです。（相原）

善意のご寄付をありがとうございました。

平成6年10月1日～12月末日
（　）内は寄付回数です

金銭をお寄せいただいた方々

○小野芳太郎様(2)
○長谷川準太郎様(2)
○須藤敏雄様
○石川トキエ様(3)
○つるみミュージックフェスティバル実行委員会様
○亀山實様(2)
○小林喜知様
○田原ノブ子様(3)
○山中淳治様
○阿佐貞太郎様(2)
○万本ダンス教室様
○三須洋子(3)
○横浜鐵工建設株式会社様
○工藤高之祐様
○TSURUMIーふれあい祭フリーマーケット実行委員会様
○横浜建設業協会鶴見区会様
○米山マツ様(2)
○五神嘉子様
○竹田富美様(2)
○婦人体操クラブあしたば様
○竹村タカ様(2)
○川尻久夫様
○小野梅子様(2)
○東京ガス株式会社鶴見支社様
○山下宏治様
○小林一夫様
○山口保身様
○希望更生会様
○小高幸子様
○レッツダンスロイ様
○市場地区・市場第二地区社会福祉協議会様
○鶴見区民文化祭手工芸グループ様
○吉川かほり様
○吉川雅章様
○サロンドジョーPLUS店様
○神奈川県立鶴見高等学校三年六組様
○竹田富美子様(2)
○坂本晴生様
○神奈川へら鮒釣研究会様(2)
○小高光江様
○戸井田啓治様
○田島克巳様
○横浜市生麦地区センター様
○添田千恵子様
○股野藍子様
○麻田利貞様
○岩田バレエ団様
○神奈川リオネット販売株式会社様
○はねこんまの会様
○上末吉やよい会様
○新明和工業株式会社様(2)
○島田美惠様
○横浜市末吉地区センター様
○鶴見区民文化祭チャリティーコーナー様
○日産サニー神奈川販売株式会社鶴見営業所様
○私鉄関東ハイタク協議会・平和交通労働組合様
○珈琲館サカエ様
○コープかながわ鶴見区組合員委員会様
○石田菊雄様
○小嶋七郎様
○鶴見の田祭り実行委員会様

物品をお寄せいただいた方々

○匿名様
○栗田安徳様
○松元貞子様
○松清千枝様
○福田裕一様
○日本ビクター労働組合横浜支部様
○鈴木松子様
○荒井うめ様
○永田萬治様
○エスイーティ株式会社様
○株式会社ジェド日本環境ダイナミックス様
○横浜鶴見ライオネスクラブ様
○八木下晴美様
○高橋文江様
○岩崎中学校様
○大和町自治会様
○大西紀久江様

（順不同）